序章　勧進研究への道……3
第一章　中世的「勧進」の形成過程……7
はじめに　7
1節　重源の勧進が占める位置　10
2節　平安時代の勧進　20
a勧進聖の出現　21／b勧進聖の生活と活動　28／c中世的勧進の成立　44
3節　大勧進職の成立——むすびにかえて　50
第二章　東大寺大勧進職の成立……63
はじめに　63
1節　東大寺再興と重源　65
（1）東大寺再興事業の性格　65
（2）「重源」像の再検討　74
a醍醐寺理趣三昧僧重源　77／b重源の入宋　83／c東大寺再興勧進任命　89
2節　東大寺再興勧進　93
（1）東大寺再興勧進集団　93
（2）再興勧進にみられる二つの形態　99
（3）東大寺大勧進職就任　104
3節　中世的勧進の成立——むすびにかえて　114
第三章　中世的「勧進」の展開……131
はじめに　131
1節　勧進所の成立　133
2節　中世勧進の形態——巡歴型勧進　143
3節　中世勧進の形態——幕府依存型勧進　150
4節　中世勧進の形態——朝廷助成型勧進　162
5節　興行型勧進の登場　169
a寺宝の出開帳（日本型展覧会の先駆）　169／b縁起絵巻の利用（日本型宗教絵画の需要）　177／c勧進芸能（日本型芸能興行の先駆）　179

6節　近世的勧進への道——ノルマ型勧進から興行型勧進への移行　182
第四章　中世の勧進と三昧聖……199
1節　『日本往生極楽記』にみる勧進　199
2節　勧進と三昧聖　202
3節　作善・結縁する人々の意識　207
第五章　勧進と興行——勧進の近世的展開……217
初出一覧　221
あとがき　223